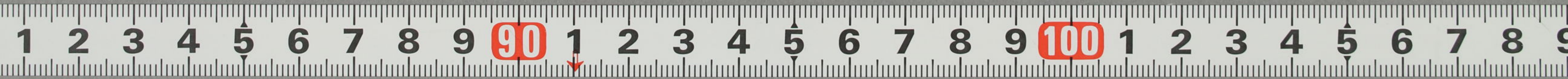
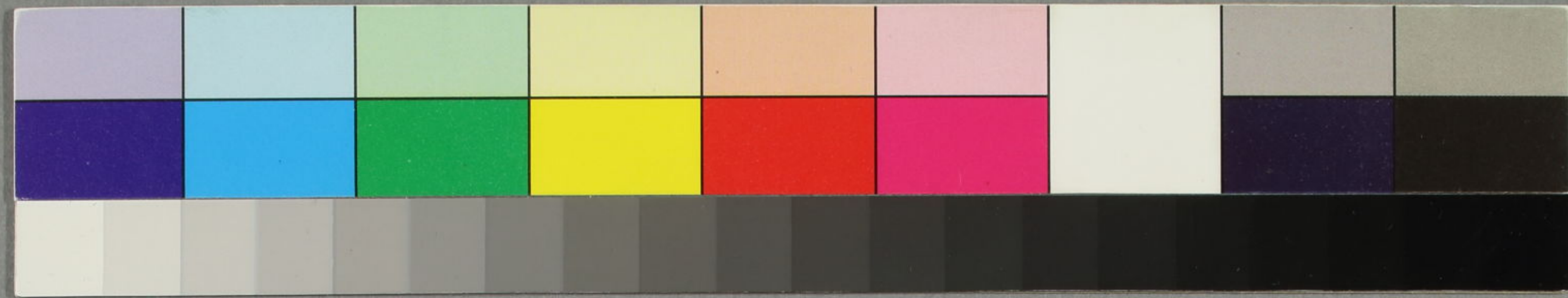


役者評判記

手13
3849
1





三国舞臺鏡

手多13
1.6.29
1

手多13
3849
1

待



作者評判之り毎年
 改正すりしを正し
 板を紙巻の如く
 白のちりめり
 日身事
 月又
 評判
 三
 くるん
 色
 九
 十
 十
 月

1639
53

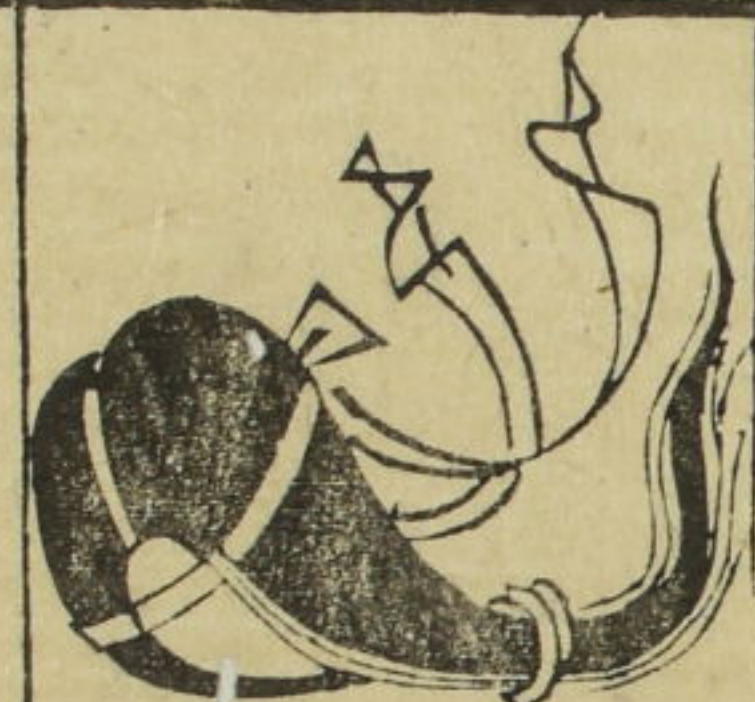
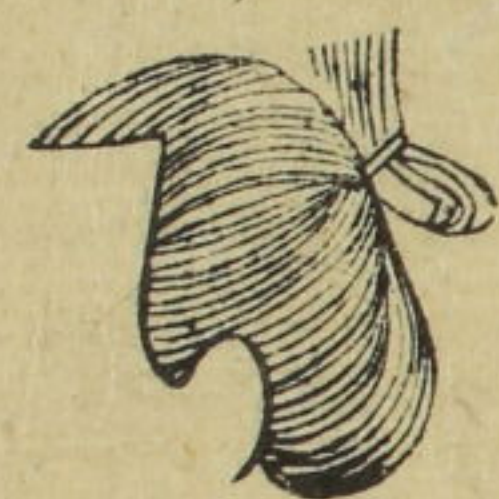
三國舞臺鏡
 狂言諸道具
 訓蒙圖彙



子唱若捺



髮仁親



髮后皇

髮人



後

髮城傾



下



子帽野



巾頭



自



后皇



髮子童



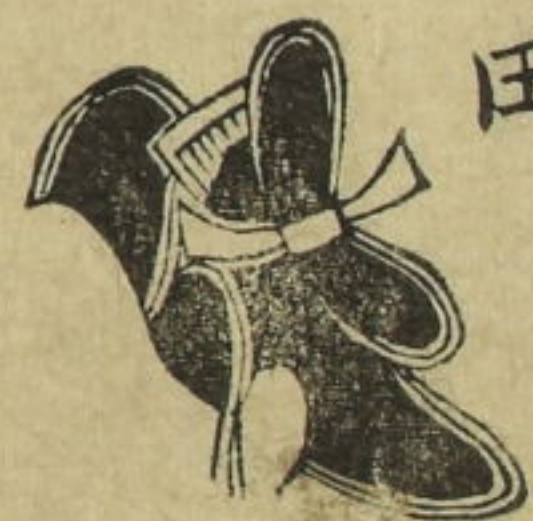
髮車花



髮



嶋田



髮



子扇舞



頭巾



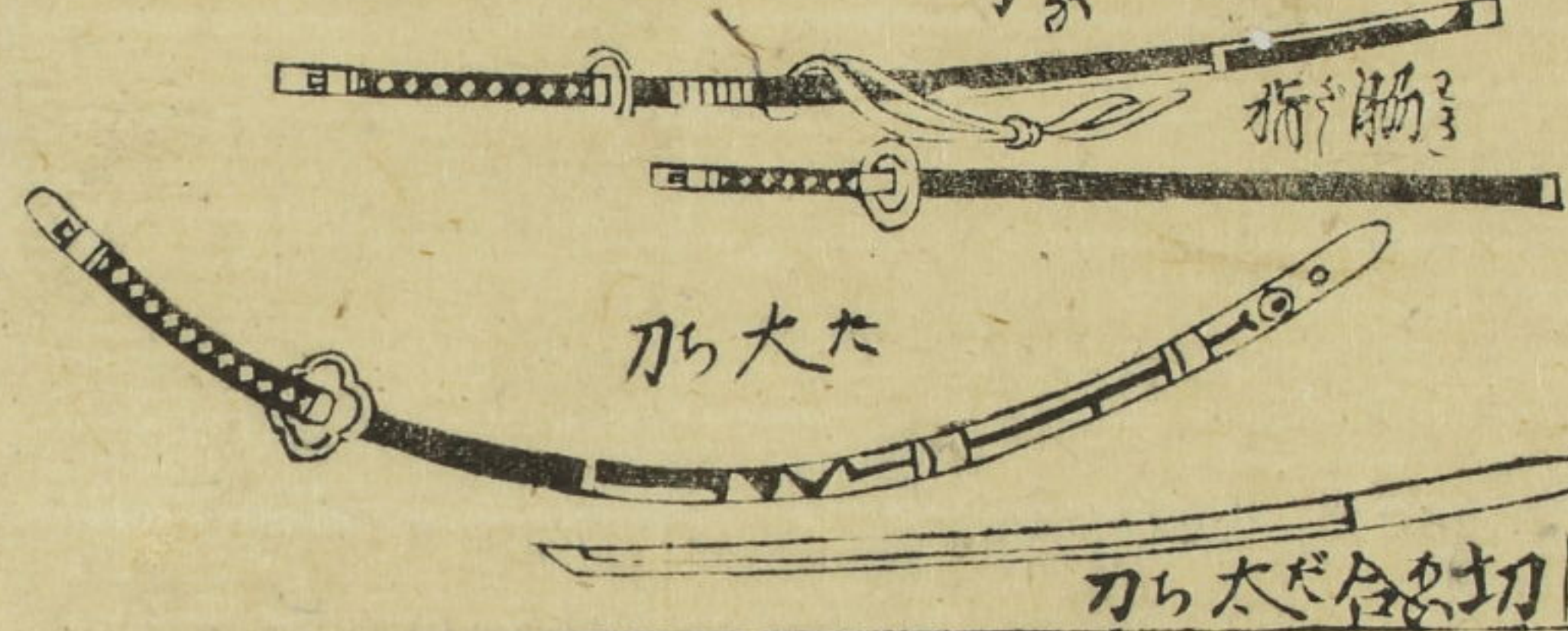
子帽角



髯



刀



雀の舞
蝶の舞

珠



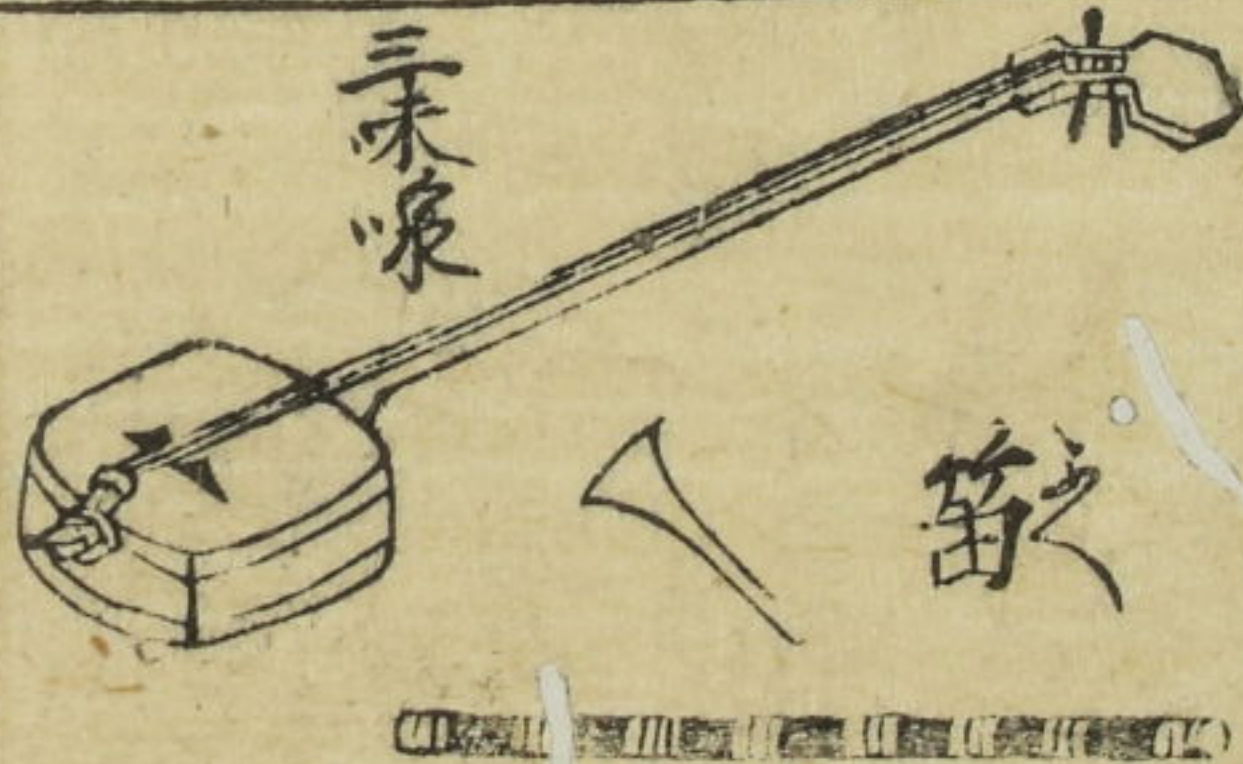
巾



甲



柔



笛

琴



母三



巾着頭 (Hachimaki)



笠 (Sugorin)

笠 (Sugorin)



葉藁 (Karakusa)



鉾 (Ho)



巾着頭 (Hachimaki)



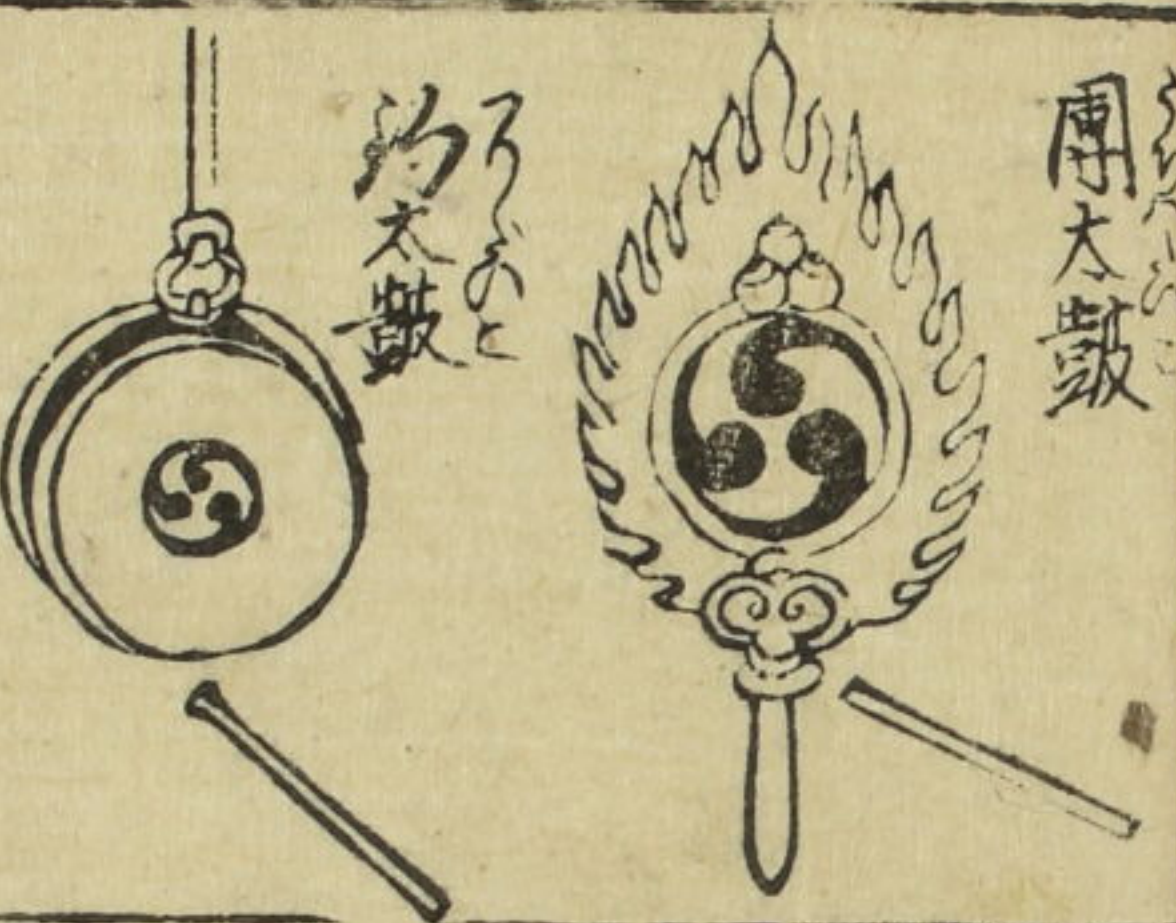
水桶 (Suzuri)



腰藁 (Sashimono)



鎧 (Yoroi)



團太鼓 (Tama)

約太鼓 (Tama)

作れんがのまゝ
つゝたつて

天人衣裳 (Tenjin Iyō)



巾着頭 (Hachimaki)



水桶 (Suzuri)



腰藁 (Sashimono)



鎧 (Yoroi)



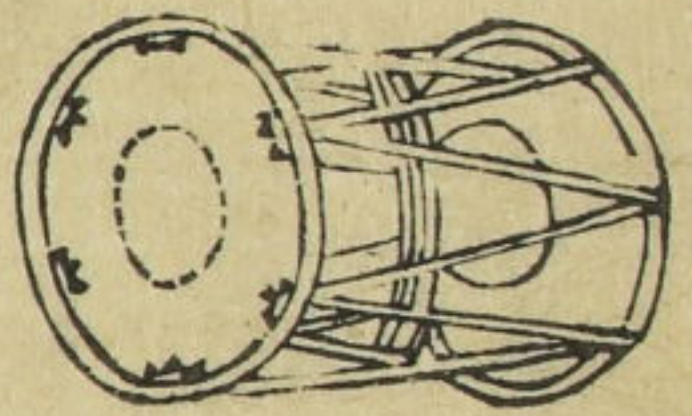
狐 (Kitsune)

作れぬ
右に
左に

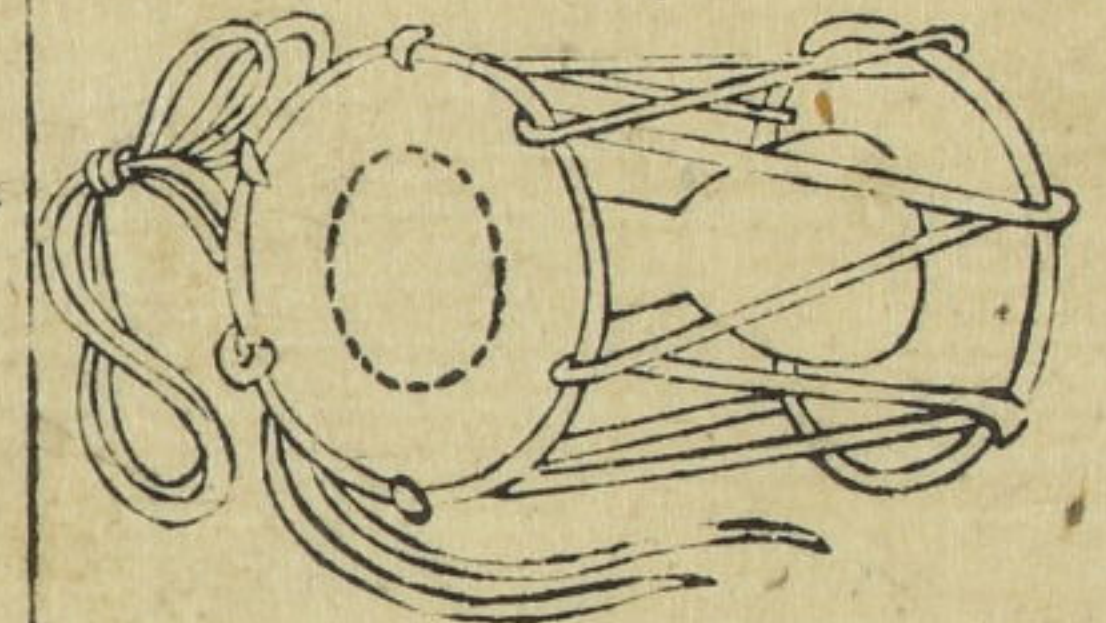
馬 (Uma)



鼓 小



鼓 大

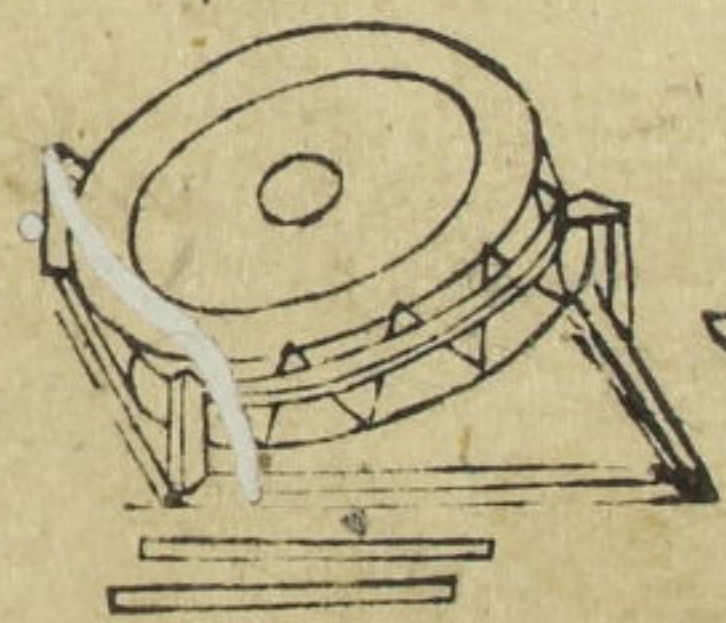


尺八



節 一

鞞 太



鑓



長大刀

鐵把

丸次

金把

京大坂 優者惣名目録



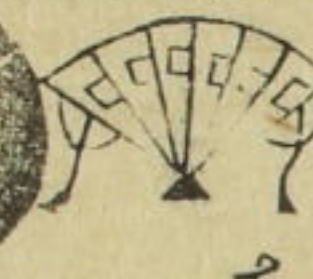
東女方上之者
長久保



西女方上之者
神保香流



東女方上
松尾野造



大坂女方中上
和子之助



大坂女方中
今村久米助



大坂女方中上
神保いね



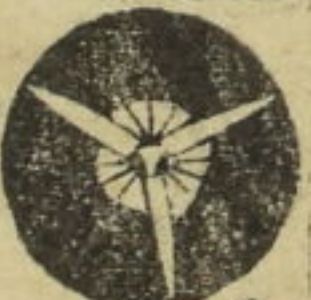
大坂女方上
玉川建美



西女方上之者
萩野天守



西女方中上
松本共茂



長女方中上
若井保之



大坂女方中上
浅尾十次郎



東女方上
花井新三



東女方中
上村直太郎



大坂女方中
風三郎



大坂女方中上
上村井筒



東女方上之者
水木辰之助



大坂女方上
忍田の次



東女方上
山下三郎



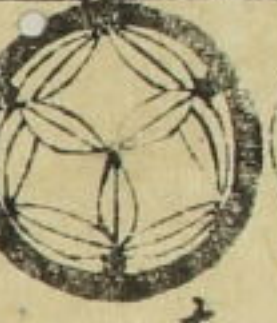
京女方上
芳源子男



大坂女方中上
丹波



大坂女方中上
丹波



大坂女方中
丹波



京女方中
丹波



京女方中
丹波



京女方中上
丹波



大坂女方中
丹波



京女方中上
丹波



大坂女方中
丹波



大坂女方中
丹波



大坂女方中
丹波



京女方中
丹波



大坂女方中
丹波



大坂女方中上
丹波



大坂女方中上
丹波



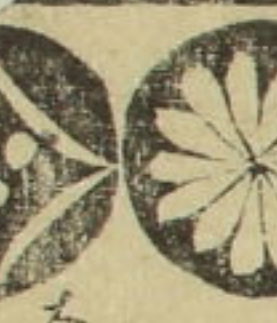
京女方中上
丹波



大坂女方中上
丹波



大坂女方中上
丹波



大坂女方中上
丹波



大坂女方中上
丹波



京女方上
丹波



京女方中
丹波



大坂女方中
丹波



京女方中
丹波



京女方中
丹波



京女方中
丹波



京女方中
丹波



京女方中
丹波



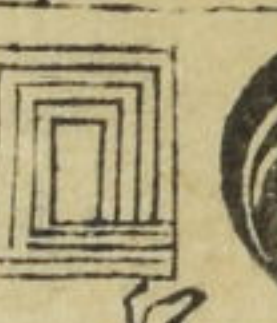
京女方中
丹波



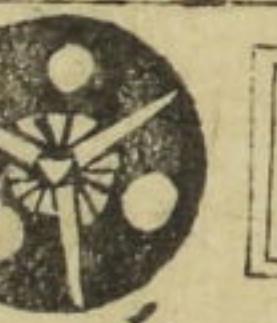
京女方中
丹波



京女方中
丹波



京女方中
丹波



京女方中
丹波



京女方中
丹波



京女方中
丹波



京女方中
丹波



京女方中
丹波



京女方中
丹波



京女方中
丹波



京女方中
丹波



京女方中
丹波



江戸屋敷上中
方町三郎



大坂屋敷中上
小倉介七郎



大坂三屋敷中上
三宅三郎



大坂二屋敷中上
沢井三郎



江戸屋敷中上
市村三郎



江戸屋敷上
中村七郎



大坂屋敷本上
大和屋三郎



大坂屋敷上
秋山勘次郎



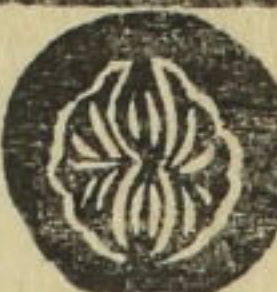
大坂屋敷中上
藤川三郎



大坂屋敷上
柴橋三郎



大坂屋敷中上
村山三郎



大坂屋敷上
安達三郎



大坂屋敷中
小島三郎



大坂屋敷上
秋山三郎



江戸屋敷中
村山三郎



大坂屋敷上
竹中三郎



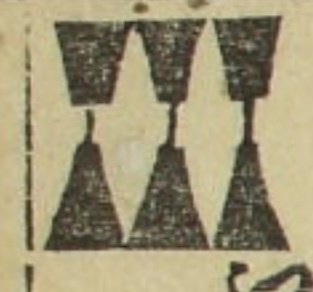
大坂屋敷上
若木三郎



大坂三屋敷上
三原三郎



大坂屋敷上
山田三郎



大坂屋敷上
秋田三郎



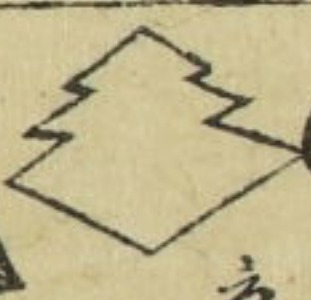
江戸屋敷上
坂本三郎



江戸屋敷中上
羽山三郎



大坂三屋敷上
三宅三郎



大坂二屋敷中上
松本三郎



江戸屋敷中上
市村三郎



大坂屋敷本上
山下三郎



江戸屋敷上
江本三郎



大坂屋敷中上
竹中三郎



大坂屋敷中
藤川三郎



大坂屋敷上
小島三郎



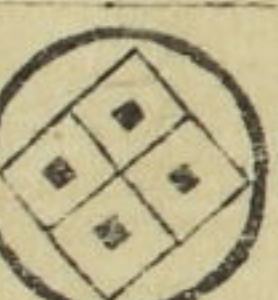
江戸屋敷中上
竹中三郎



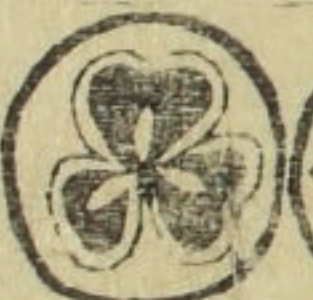
大坂屋敷上
山村三郎



大坂三屋敷中
若木三郎



江戸屋敷上
西村三郎



大坂屋敷上
古川三郎



大坂屋敷上
坂田三郎



大坂三屋敷上
藤原三郎



大坂二屋敷中
若木三郎



大坂屋敷中上
秋田三郎



大坂屋敷上
三宅三郎

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged paper. It appears to be a list or a series of entries, possibly related to a collection or inventory. The script is dense and difficult to decipher without specialized knowledge of the language or dialect used.

あまのつと 徳三尾十次郎

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a dark ink on aged paper. It appears to be a list or a series of entries, possibly related to a collection or inventory. The script is dense and difficult to decipher without specialized knowledge of the language or dialect used.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is written in a dark ink on aged paper. It begins with a long, flowing line that curves across the top of the page. The script is dense and continuous, with many small loops and flourishes. The text is arranged in approximately 15 horizontal lines, filling most of the page area. The ink shows some signs of fading and the paper has a slightly yellowed, aged appearance.

Handwritten note or signature in a different script, possibly a later addition or a specific reference. It is written in a more compact, blocky style compared to the main text. The characters are larger and more distinct, making it stand out from the surrounding cursive. It appears to be a name or a title, possibly written in a different language or dialect.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a dark ink on aged paper. It begins with a long, flowing line that curves across the top of the page. The script is dense and continuous, with many small loops and flourishes. The text is arranged in approximately 15 horizontal lines, filling most of the page area. The ink shows some signs of fading and the paper has a slightly yellowed, aged appearance.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is arranged in two columns on a single page. The script is dense and characteristic of early modern handwriting. There are several instances of small, handwritten annotations or corrections interspersed within the main lines of text, such as "Pantur" and "Pantur" written vertically or horizontally near specific words. The page is numbered "11" in the bottom right corner. The ink is dark, and the paper shows signs of age and wear.

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 10 lines of dense cursive writing.

Handwritten title or section header in Arabic script, centered at the top of the page.

Main body of handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 20 lines of dense cursive writing.

のぬきよりくろくろくく身ぢり
 よゆいど何やの汗知よ藤田名
 らふよ似たりとくみいむじよ其
 留の悪性めよぬきくよの夜
 りふしりゆのむあつしむよおんて
 びより今おれとてなんてごぬ
 女房上りの暑候さつるまふ花
 のほつらふしつふむけぬて
 またお申の上りて一
 ちのむらう大よはれふむ
 りふしりゆめさしきか一のあり
 ちりふしりゆめさしきか一のあり
 ちりふしりゆめさしきか一のあり
 ちりふしりゆめさしきか一のあり
 ちりふしりゆめさしきか一のあり

あなまきょうを南雲を

研経をかたにふりまのりん
 十く大柳之伝はゆばれさむくしよ
 くまふと人なりまのりん
 ありあり海乃さつるあ光のをき
 又村より青鹿へはるるすふ地
 ありありあふふだれふりよさ
 いなりたまふさるあふりよさ
 あり

あなまきょうを早川を

川柳の風よとまろくまのりん
 ありありあふふだれふりよさ
 ありありあふふだれふりよさ
 ありありあふふだれふりよさ
 ありありあふふだれふりよさ

おなういば娘はさういふ巻の女
房よあそび八お山がういふお出さ
ちあひさういふお山がういふお出さ
おういふお山がういふお出さ
おういふお山がういふお出さ
おういふお山がういふお出さ

お女房 松おおの井

お松おおの井お松おおの井
お松おおの井お松おおの井
お松おおの井お松おおの井
お松おおの井お松おおの井
お松おおの井お松おおの井
お松おおの井お松おおの井

お女房 お松おおの井

お松おおの井お松おおの井
お松おおの井お松おおの井
お松おおの井お松おおの井
お松おおの井お松おおの井
お松おおの井お松おおの井
お松おおの井お松おおの井

年の昔待別屋がわが世のよう

あき芳藤井八十翁

あきまの世に終つていふと久
の心持はつてく自命のよき
もくまを捨てのふらふと
いふものゆゑとあんなあま
くまをせんまのふらふのた
せのひくまをなられたるま
世にたりはば上より下より
世にせよまをなすひより
かたの世に上よりせりて

あき芳高徳かの人

六根は七をいふ根まくのま
なるまをいふまといふま
なりまのまのまのまのま

えがまのまのまのまのま
下より上よりまのまのま
君とまのまのまのまのま
身よひまのまのまのまのま
まのまのまのまのまのま

あき芳西川忠之助

あきまのまのまのまのま
幾らかのまのまのまのま
くまのまのまのまのまのま
まのまのまのまのまのま
あきまのまのまのまのま
あきまのまのまのまのま
あきまのまのまのまのま
あきまのまのまのまのま
あきまのまのまのまのま

ふいふし 雑言の流物なるの故
 うち男ふむるの氣とからうのけ
 てのつとけをむらうのぬふこと
 たりう 雑言本はありさなく人
 かわりたるもであうんるのよま
 雑言の飲とりのすくわがま
 りんすりあひらぐかぬゆふ
 谷所とあふんまといふのあの方
 力にさるるあし殺くわも
 ころんにのかりのやてまらひら
 りふちひらちのあはひ今一
 年のちる飲飲法はあまうし
 有りい春のさのぬをまへら
 のつたとあまのあひらくも
 又はうはあひらくも

ふら女房 袖結徳良氏

めんふあまふ目つくと
 ともあまふとめ共利良のす
 い小結わはのち係が表ぶら
 先鋒まぐありののう何と
 と及あまふとめ切まぐんと
 ともあまふとめ切まぐんと

あ女房 袖結徳良氏

いふとさかあまふとめ切まぐんと
 ありとあまふとめ切まぐんと
 けいさあまふとめ切まぐんと
 ちあまふとめ切まぐんと
 りあまふとめ切まぐんと
 りあまふとめ切まぐんと
 今よりあまふとめ切まぐんと

かひしがらなくらまむ後が正
しどりのありむしうの救ふとの
おらんやともしうん就之のあり
平乃がうし子ともしうん。空
見はなんの辨別もはんとするぬ
るを方お和川甚をぬ
大和屋のあへの神ひとくひまな
もしてとあり麻人の神すこか
る場まをひひひひひひまなりむ
かみまをうと年ごりとりひうとげ
いのおと先とほひひてかんがんのあ
れ方今時よとふかかあれり
むとたがしとくしと後まを
るを方富次政之助

るを方富次政之助

このはるのいひこむあをまこ
ゆもは人ごりくはあまの
を渡河中とくしとあをひひひ
かひわとあそくちのひ若井屋
かひひとくしとあまはひひひ
うす後とくしとあまはひひひ
かみまをうとあまはひひひ
まとくしとあまはひひひ

あを方考辨又三房

そととのあらあむせうとあひさり
かかひとくしとあまはひひひ
かひひとくしとあまはひひひ
あまはひひひとあまはひひひ
あまはひひひとあまはひひひ
あまはひひひとあまはひひひ
あまはひひひとあまはひひひ
あまはひひひとあまはひひひ

いなりわきとらちんちんの物
りあな方物とらちんちんちんちん
すあしゆめい

あな方 秋の物

秋の物
秋の物
秋の物
秋の物
秋の物
秋の物
秋の物
秋の物
秋の物
秋の物

あな方 秋の物

あな方
あな方
あな方
あな方
あな方
あな方
あな方
あな方
あな方
あな方

あな方
あな方
あな方
あな方
あな方
あな方
あな方
あな方
あな方
あな方

あな方 秋の物

あな方
あな方
あな方
あな方
あな方
あな方
あな方
あな方
あな方
あな方

あな方 秋の物

あな方
あな方
あな方
あな方
あな方
あな方
あな方
あな方
あな方
あな方

よ、初め、を奉り、は、あ、と、ひ、と、は、
を、の、ま、と、ま、い、い、入、す、ち、を、う、け、し、
町、中、に、が、の、の、お、き、り、の、お、ま、を、ま、り、
期、は、あ、の、ま、を、た、れ、も、あ、ら、じ、れ、乃、
降、別、ハ、私、が、あ、く、さ、う、の、由、を、お、ま、
後、を、お、さ、だ、け、た、の、ら、れ、の、降、別、を、
ま、へ、し、も、あ、ら、じ、お、ま、の、降、別、を、
あ、ら、じ、し、私、を、ま、ま、ん、と、あ、ら、じ、
あ、ら、じ、し、あ、く、さ、う、

一、本、極、六、等、の、の、三、十、の、は、ま、り、
後、者、を、ま、り、し、し、し、し、し、し、
を、お、ま、り、し、し、し、し、し、し、
人、の、後、者、を、ま、り、し、し、
二、お、ま、り、し、し、し、し、し、し、
し、し、し、し、し、し、し、

鼻、の、あ、ら、じ、し、し、し、し、し、し、
一、お、ま、り、し、し、し、し、し、し、
三、お、ま、り、し、し、し、し、し、し、
な、く、あ、ら、じ、し、し、し、し、し、
あ、ら、じ、し、し、し、し、し、し、
さ、ら、し、し、し、し、し、し、
お、ま、り、し、し、し、し、し、し、
あ、ら、じ、し、し、し、し、し、し、
お、ま、り、し、し、し、し、し、し、
あ、ら、じ、し、し、し、し、し、し、
七、お、ま、り、し、し、し、し、し、し、
あ、ら、じ、し、し、し、し、し、し、

髪よりくともあつた。然虎といふこと
 く勢はひさし。身成がし。ま
 じはさき。身成り。虎。くとも。あつこ
 氣味。う。米。屋。の。み。は。く。な。り。く
 へん。り。人。よ。は。り。く。み。だ。は。り。あ。つ
 乃。家。老。あ。つ。く。び。さ。の。村。の。本。村
 と。み。く。に。あ。つ。後。の。中。の。上。あ。つ。と。ま
 上。つ。て。さ。う。の。あ。つ。く。み。だ。は。り。あ。つ。と。ま
 す。人。多。い。あ。つ。く。み。だ。は。り。あ。つ。と。ま
 然。金。を。い。れ。立。身。を。さ。知。の。み。り
 り。付。一。ん。多。留。根。よ。是。と。ま。つ。と
 立。後 橋。山。名。な。あ。つ
 林。之。成。く。ら。い。さ。の。あ。つ。の。け。ん。ぐ。と。あ。つ
 せ。き。ひ。さ。の。の。人。は。新。が。ん。あ。つ
 に。さ。り。あ。つ。く。み。だ。は。り。あ。つ

は。ぬ。は。ひ。た。の。名。の。危。り。な。あ。つ
 い。さ。き。く。ら。い。さ。の。あ。つ。の。け。ん。ぐ。と。あ。つ
 な。り。く。も。昔。よ。あ。つ。の。け。ん。ぐ。と。あ。つ
 坂。田。大。の。林。と。さ。ん。あ。つ。の。け。ん。ぐ。と。あ。つ
 い。さ。の。ひ。種。り。麻。子。さ。ん。あ。つ。の。け。ん。ぐ。と。あ。つ
 り。あ。つ。の。け。ん。ぐ。と。あ。つ。の。け。ん。ぐ。と。あ。つ
 人。の。あ。つ。の。け。ん。ぐ。と。あ。つ。の。け。ん。ぐ。と。あ。つ
 さ。ん。あ。つ。の。け。ん。ぐ。と。あ。つ。の。け。ん。ぐ。と。あ。つ
 つ。と。さ。の。あ。つ。の。け。ん。ぐ。と。あ。つ。の。け。ん。ぐ。と。あ。つ
 あ。つ。の。け。ん。ぐ。と。あ。つ。の。け。ん。ぐ。と。あ。つ
 矣。一。と。さ。の。あ。つ。の。け。ん。ぐ。と。あ。つ
 の。あ。つ。の。け。ん。ぐ。と。あ。つ
 立。後 思。山。新。の。あ。つ
 あ。つ。の。け。ん。ぐ。と。あ。つ
 亦。ひ。あ。つ。の。け。ん。ぐ。と。あ。つ

あつたつちをわたりてあつたつちをわたりて
しとるものありし。一、わりのありし
あつたつちのあつたつちをわたりてあつたつち
あつたつちのあつたつちをわたりてあつたつち
あつたつちのあつたつちをわたりてあつたつち
あつたつちのあつたつちをわたりてあつたつち

悪賢方行世にあらす

悪賢の上りてあつたつちをわたりてあつたつち
あつたつちの上りてあつたつちをわたりてあつたつち
あつたつちの上りてあつたつちをわたりてあつたつち
あつたつちの上りてあつたつちをわたりてあつたつち
あつたつちの上りてあつたつちをわたりてあつたつち
あつたつちの上りてあつたつちをわたりてあつたつち

あつたつちの上りてあつたつちをわたりてあつたつち
あつたつちの上りてあつたつちをわたりてあつたつち
あつたつちの上りてあつたつちをわたりてあつたつち
あつたつちの上りてあつたつちをわたりてあつたつち
あつたつちの上りてあつたつちをわたりてあつたつち
あつたつちの上りてあつたつちをわたりてあつたつち

悪賢 富徳傳者

あつたつちの上りてあつたつちをわたりてあつたつち
あつたつちの上りてあつたつちをわたりてあつたつち
あつたつちの上りてあつたつちをわたりてあつたつち
あつたつちの上りてあつたつちをわたりてあつたつち
あつたつちの上りてあつたつちをわたりてあつたつち
あつたつちの上りてあつたつちをわたりてあつたつち

いそぐわてうらんぢうがのりはし
のそし後者存ありありあり

立後者 中世の徳公記

新園十部と對の役者なまを後判
を略と別をくはたゆうきやなり

いりまをけん人柳ありは後
者のまぬりなりゆび取りのれ

難後よありありありありあり

立後者 名倉百もり

三方幸ありはんびわありあり

うしなまを後判をなわすこもや
なをありはりありありあり

ひん物とまらうりありありあり

ぬりありありと難云人なり柳

もくありこがかりありありあり

立後法 ありがふ不強とかし何れ

先判の役者の名を七何と色名のこ

なすてあやりのかりまをさすあり

かまてくゆ湯を後判を清屋へん

りまどがなりどなりい屋もをん

あやしてをとり人七さより新屋水

かありあまいれはり川徳とうあす

いん物とまありと見よいわけんか

まぬりせりまをまはりまらあり
かまざりありありありありあり
役とありありありありありあり
しりありありありありありあり
しりありありありありありあり
のかりありありありありありあり

しつちては後とある上は初也
大なり乃後とあるは日一

教役三立場を以

は思ふ所あるを存するは後
一面くは信じてこのりくは
をさへんかのみその後と云
はくまのなる一立の立者

教役 浜井七郎の方

もと一舞の卒の侍儀を以て
かとも云はれ自らと云はれん
もつたのよりそか疑つるおんま
まこそよひるがくはたひが

教役 松永のり方

は教役甚素といふことごとく
ごんごまくとしたんともしたぬを

役なりしはちの年よりことごと
は東大がうふせのひとほこを
すめく付くおくがうくうのま
あつては是の先大教役の
まうとあることごとくしよの
がけや申金と云ふことごとく
またなりぬ

教役 中村屋の次

おながのりくおのやうなま
かきけいがあるのりくは
より定所決あせりくは
乃が教役海老のりくは
乃が教役あかくぐまくと
まがけしはれくはたか
まがけしはれくはたか



